第26巻第48号　［宮崎県第48週（11/25～12/1）　全国第47週（11/18～11/24）］　令和6年12月5日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第48週の発生動向

□　全数報告の感染症（48 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 2 例。
5 類感染症：急性脳炎 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 3 例、百日咳 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難、食欲不振、体重減少
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
4類	つつが虫病	宮崎市	70歳代	男	－	発熱、刺し口、発疹
		都城	60歳代	男	－	頭痛、発熱、刺し口、発疹
5類	急性脳炎	宮崎市	10歳代	男	病原体不明	発熱、頭痛、項部硬直、意識障害、髄液細胞数の増加
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	70歳代	女	－	ショック、肝不全、腎不全
			90歳代	男	－	ショック、DIC、壊死性筋膜炎
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	－	発熱、菌血症、右化膿性手関節炎
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
		都城	80歳代	男	晩期顕症梅毒	神経症状、眼症状
		延岡	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
	百日咳	宮崎市	0～4歳	男	－	持続する咳、夜間の咳き込み
			50歳代	女	－	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
		日向	0～4歳	男	－	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,001 人(定点当たり 26.7)で、前週比 105%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

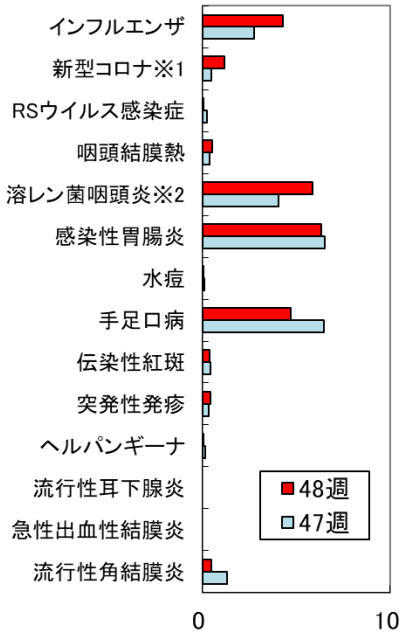
報告数は 250 人(4.3)で、前週比 157%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約 2 倍であった。延岡(9.1)、日向(5.7)、高鍋(5.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 68 人(1.2)で、前週比 234%と増加した。延岡(2.3)、日向(1.5)、中央(1.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 60 歳以上が全体の約 3 割を占めた。

＊　新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

《前週との比較》



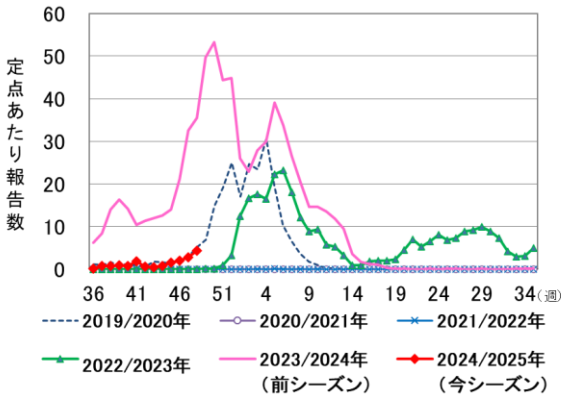
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【感染性胃腸炎】

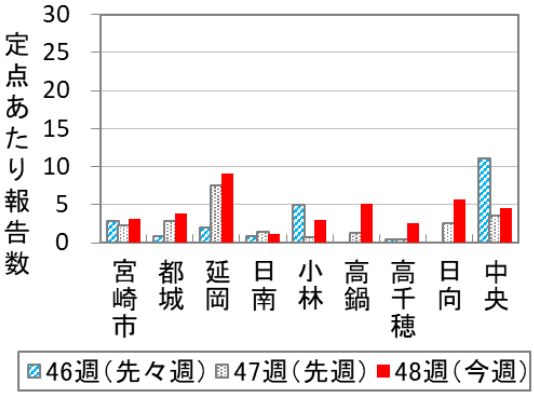
報告数は 228 人(6.3)で、前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(12.4)の約半数であった。中央(27.0)、日南(9.3)、宮崎市(7.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約半数を占めた。

＊ 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

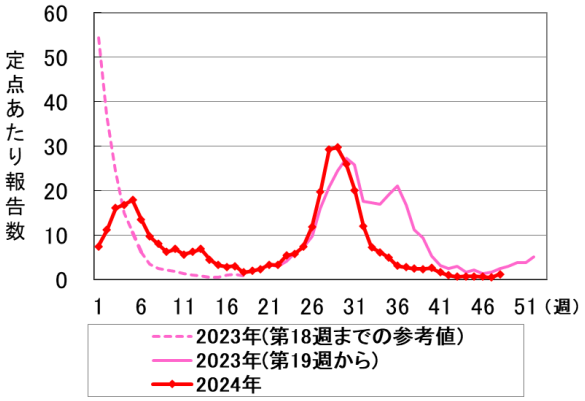
インフルエンザ　発生状況



インフルエンザ　保健所別推移(3 週分)

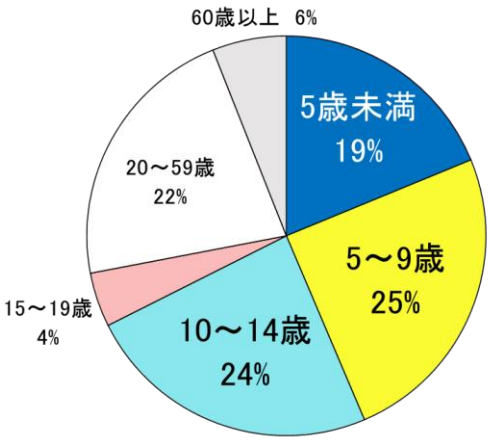


新型コロナウイルス感染症　発生状況

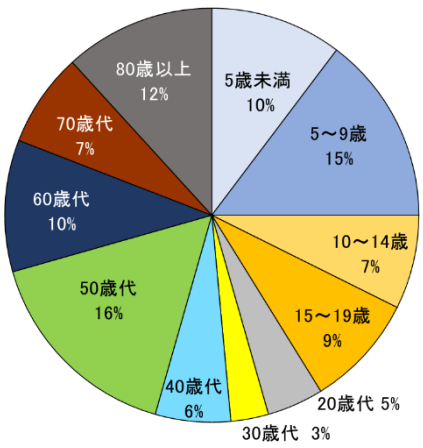


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

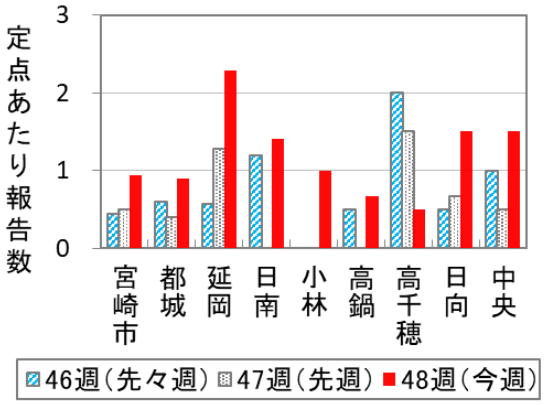
インフルエンザ年齢群別グラフ(第 48 週)

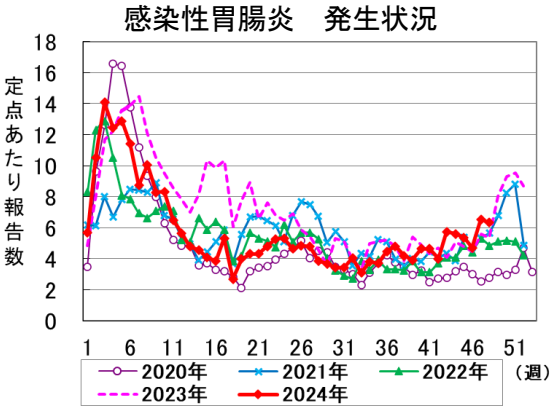


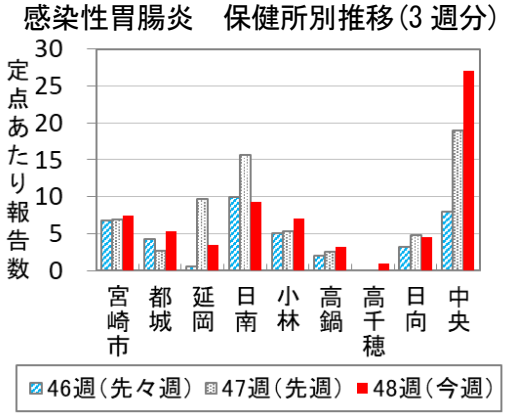
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第 48 週)



新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)







★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 16 例(定点当たり 2.3)で、前週比約 1.1 倍と増加した。日向(10 例)、宮崎市(2 例)、延岡(2 例)、高鍋(2 例)保健所から報告があった。年齢は 10～14 歳が 9 例、5～9 歳が 4 例、0～4 歳が 3 例であった。

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(6.0)
都城	なし
延岡	伝染性紅斑(2.5)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(24.3)
小林	手足口病(6.3)
高鍋	なし
高千穂	手足口病(13.0)
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(27.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- 感染性胃腸炎(20)
- 手足口病(5)
- 伝染性紅斑(2)

全国 2024 年第 47 週の発生動向

□　全数報告の感染症

1類感染症	報告なし						
2類感染症	結核	217 例					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	52 例					
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	2 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	17 例
	デング熱	6 例	日本紅斑熱	6 例	レジオネラ症	45 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	33 例
	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	24 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	45 例	水痘(入院例)	5 例	梅毒	189 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	127 例

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 94%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 11,678 人(2.4)で前週比 126%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約 1.5 倍であった。福岡県(5.8)、山形県(5.7)、沖縄県(5.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 8,948 人(1.8)で前週比 95%とほぼ横ばいであった。秋田県(8.0)、岩手県(6.4)、北海道(5.5)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 4 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 1,233 人(2.6)で前週比 90%と減少した。福井県(6.2)、愛知県(5.6)、奈良県(5.2)からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は 2.0 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

＊　新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報　（71定点医療機関 ）　2024年 第48週（11月25日～12月01日）

疾病名		第47週	第48週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	159	250	51	38	64	6	12	31	5	34	9
	定点当り	2.74	4.31	3.19	3.80	9.14	1.20	3.00	5.17	2.50	5.67	4.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	29	68	15	9	16	7	4	4	1	9	3
	定点当り	0.50	1.17	0.94	0.90	2.29	1.40	1.00	0.67	0.50	1.50	1.50
RSウイルス感染症	報告数	9	2		1				1			
	定点当り	0.25	0.06	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	14	19	9		2			1		7	
	定点当り	0.39	0.53	0.90	0.00	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	1.75	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	146	211	72	15	13	73		24	2	9	3
	定点当り	4.06	5.86	7.20	2.50	3.25	24.33	0.00	6.00	2.00	2.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	235	228	74	32	14	28	21	13	1	18	27
	定点当り	6.53	6.33	7.40	5.33	3.50	9.33	7.00	3.25	1.00	4.50	27.00
水　痘	報告数	4	3	2		1						
	定点当り	0.11	0.08	0.20	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	234	169	60	21	19	5	19	13	13	17	2
	定点当り	6.50	4.69	6.00	3.50	4.75	1.67	6.33	3.25	13.00	4.25	2.00
伝染性紅斑	報告数	15	14	1	2	10			1			
	定点当り	0.42	0.39	0.10	0.33	2.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	15	5	4	3		1			2	
	定点当り	0.36	0.42	0.50	0.67	0.75	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	3	1		2						
	定点当り	0.17	0.08	0.10	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	3		2	1						
	定点当り	1.33	0.50	0.00	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	14	16	2		2			2		10	
	定点当り	2.00	2.29	2.00	0.00	2.00	0.00	0.00	2.00		10.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点：58、小児科定点：36（インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

●全数把握対象疾患累積報告数（2024年 第1週 ～48週 保健所受理分）

2類感染症	結 核	104例(2)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	41例					
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	8例	
	つつが虫病	16例(2)	日本紅斑熱	15例	レジオネラ症	16例	
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例	
	急性脳炎	1例(1)	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	20例(2)	
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	16例(1)	
	水痘（入院例）	5例	梅 毒	145例(3)	播種性クリプトコックス症	5例	
	破傷風	2例	百日咳	53例(3)			

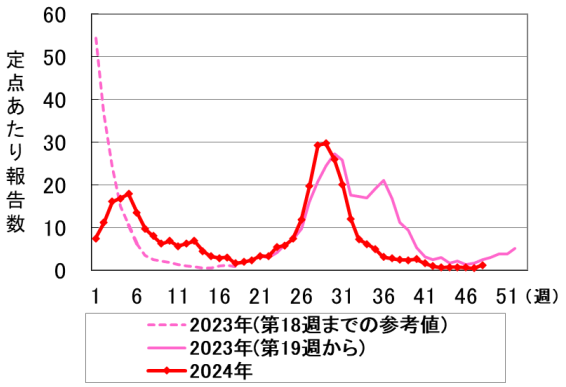
（　）内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 48 週、全国第 47 週（再掲）》

□ 県内第 48 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

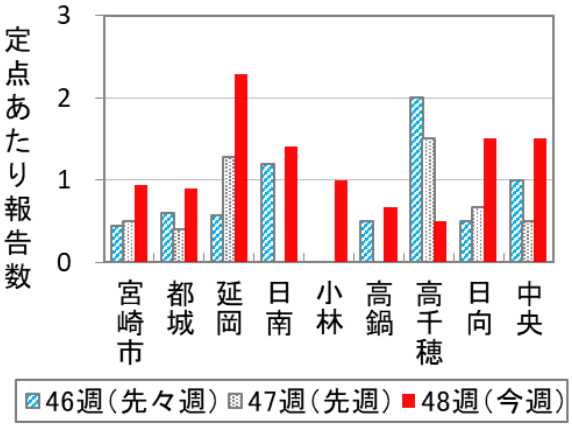
11 月 25 日～12 月 1 日までの 1 週間で 68 人(1.2)の報告があり、前週比 234%と増加した。延岡(2.3)、日向(1.5)、中央(1.5)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症　発生状況



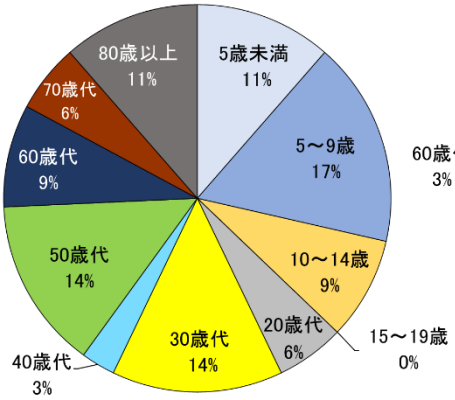
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)

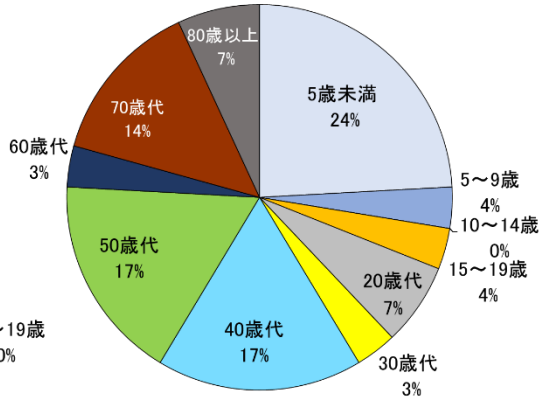


新型コロナウイルス感染症　年齢群別グラフ

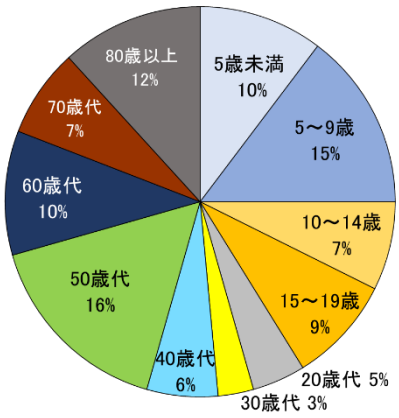
第 46 週



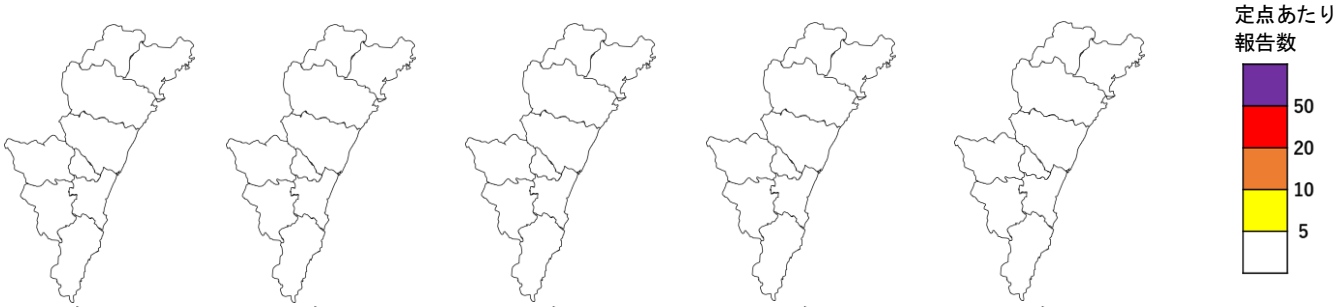
第 47 週



第 48 週



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ　2024 年第 44 週～2024 年第 48 週



2024 年 44 週（県全体 0.7）　2024 年 45 週（県全体 0.7）　2024 年 46 週（県全体 0.6）　2024 年 47 週（県全体 0.5）　2024 年 48 週（県全体 1.2）

＊　県独自の基準によるもの

□ 全国第 47 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

11 月 18 日～11 月 24 日までの 1 週間で 8,948 人(1.8)の報告があり、前週比 95%とほぼ横ばいであった。秋田県(8.0)、岩手県(6.4)、北海道(5.5)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 4 割を占めた。